

白井市第5次総合計画基本構想（素案）に対する パブリックコメントの結果について

白井市第5次総合計画基本構想（素案）について、市民の方々からご意見を募集したところ、下記のとおり、ご意見をいただきました。

いただいたご意見とこれに対する本市の考え方については次のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

案 件	白井市第5次総合計画基本構想（素案）		
募 集 期 間	平成26年12月15日（月）～平成27年1月13日（火）30日間		
意見の件数 （意見書提出者数）	47件（10名）		
意見の取扱い	修 正	素案を修正するもの	0件
	既 記 載	既に素案に盛り込んでいるもの	0件
	参 考	素案には反映できないが今後の参考とするもの	6件
	そ の 他	素案には反映できないが意見として伺ったもの	41件

※意見の内容は要約して記載しています。

【計画全般】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
全-1	<p>白井市の強みと2大弱点（超高運賃と高放射能）を明確にし、きちんと改善をめざす方針をぜひ組み込んでほしい。</p> <p>白井市には、全国でも抱える様々な課題が共通してある。しかし、他都市との比較では相対的に多くのアドバンテージ（地理的利点、財政力、市民自治の蓄積等々）があることという強みがある。ただし、近年は白井市の「都市ランキング」は低下傾向にあるが。</p> <p>他方、若い世代の転入や定住にとって、他の都市にはない「大きな弱点」が2つあると思う。その第1が、北総線の超高額運賃で、第2が、ホットスポットと言われる非常に高い放射能汚染である。</p> <p>（後記の理-1・重-3のとおり）</p> <p>一般に総花的かつ並列で、重点や優先課題が見えないという批判の多い総合計画であるが、「強みを生かし、弱みを緩和・克服させる」というメリハリの利いた計画にぜひしていただきたいと願っている。</p>	1	<p>第5次総合計画は、「あれもこれも」と施策を網羅するのではなく、未来に視点を置き、目指すまちの姿を実現するための取り組みを「選択と集中」により明らかにした「戦略的」な総合計画としています。</p> <p>策定に当たっては、SWOT分析※を実施するなど、市の強みや弱みなどの分析に努めています。</p> <p>今後も、市の「強み」や「弱み」などを的確に捉え、メリハリを意識して、計画の策定を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p> <p>※SWOT分析 目標を達成するために意思決定を必要としている組織や個人のプロジェクトやベンチャービジネスなどにおいて、外部環境や内部環境を強み、弱み、機会、脅威の4つのカテゴリーで要因分析し、事業環境変化に対応した経営資源の最適活用を図る経営戦略策定方法の1つです。</p>
全-2	<p>老・壮・青・幼のバランスのとれたまちづくりをすべきである。</p>	1	<p>3つの重点戦略に優先的・重点的に取り組みながら、バランスを考慮した行政運営に努めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
全-3	<p>西白井駅と白井駅を中心に人々の集まる公共施設を配置すべきである。</p>	1	<p>白井駅は中心都市拠点、西白井駅は生活拠点として位置づけており、今後それぞれの特性に合わせた拠点形成を進めていきます。</p> <p>公共施設については、市全体の公共施設のあり方を検討する中で、整理していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【1 基本理念】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
理-1	<p>今一つの放射能問題であるが、私の記憶では震災の年の11月に農林水産省が行った農地の放射能濃度の調査（白井は水田・畑・果樹地の3か所）では、千葉県内で一番高かっただけでなく、千葉より福島により近い茨城県の全市町村と比べても、確か白井市が一番高くなっていて、強いショックを受けたことを鮮明に記憶している。家族（乳幼児2人）も白井に住んでいるが、高汚染が非常に心配で、公園で遊ばせるのにも、スーパーで買物（産地等）するにも気をつかうという日常生活を余儀なくされている。</p> <p>白井市だけで、完全な除染ができるわけではないが、子どもたちの健康を守る施策を充実させることは十分に可能であり、そうした市の対応や努力が、若い世代の「安心向上」に大きく役立つと思うので、他都市以上に明確な重要課題として掲げ、力を入れていく方針が必要だと思う。</p>	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>基本理念の「安心」では、「子どもから高齢者までのだれもが、そのライフステージに応じて安心を実感できるまちづくり」を掲げており、今後基本計画等で、放射能対策など安心して暮らせるまちづくりに向けた具体的な施策等を定めていきます。</p> <p>【その他】</p>
理-2	<p>放射能対策についても一切触れていないようであるが、福島原発事故の初期に降り注いだ放射性ヨウ素の影響調査(特に子供の甲状腺健診)を進めることが将来に必ず資するものと思う。</p>	1	<p>福島第一原子力発電所事故による放射性ヨウ素被ばくについては、国の専門家会議が平成26年12月に「中間取りまとめ」として公表した評価では「福島県内よりも福島近隣県の方が多かったということ積極的に示唆するデータは認められていない。」とされています。しかし、近隣県住民の事故初期の内部被ばくについては十分なデータがなく、不確定な要素があるという指摘もあります。このため市では、福島県で継続実施されている県民健康調査（甲状腺検査）の結果を注視していくとともに、今後の状況によっては、「原発事故子ども・被災者支援法」に基づき、千葉県を含む福島近隣県においても国が責任を持って検査や医療等の事業を行うよう求めていきます。</p> <p>【その他】</p>
理-3	<p>基本理念「健康・安心・快適」が子育て世代が重要視している「利便性」とかけ離れていると思う。</p> <p>子育て世代はとにかく生活の中で常に時間が限られている。生活のゆとりよりも利便性が重要である。基本理念のスローガンが、高齢者世代と専業主婦家庭を中心に考えられていないか。</p>	1	<p>基本理念の「快適」の中で、「都市の快適さと自然の快適さを追求」としています。</p> <p>このうち「都市の快適さ」は、買い物や移動の便利さなど、世代やライフスタイルにかかわらず重要視される日常生活の利便性の要素も含んでいると考えています。</p> <p>【その他】</p>
理-4	<p>自治体の仕事の大きなものは住民の安全と生活を守ることだと思う。その観点が全体に弱いように思う。</p>	1	<p>基本理念として「安心」、「健康」、「快適」の3つを掲げています。</p> <p>このうち「安心」では、「子どもから高齢者までのだれもが、そのライフステージに応じて安心を実感できるまちづくり」を定めており、引き続き、市民の安全と生活を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。</p> <p>【その他】</p>

理-5	<p>12/8付の基本構想案では、『今後もこれまでのまちづくりを継承し、「安心」「健康」「快適」の三つを基本理念とし…』とある(12/13説明会資料には含まれていない)が、「安心」の内容として、地震対策が弱い(ほとんど触れられていない)ように思う。今後間違いなくやってくる地震に対し「小5のアンケートでも、80%超が災害対策」を選んでいるのに、そこを取り上げていないのではないかと。ニュータウン以外の人口密集地は特に危険である。発災時の初期対策としての家具転倒防止金具取付補助や家屋倒壊への対策推進策を講じるべきである。現行の助成制度ではほとんど効果が出ていない。</p>	<p>1</p> <p>今回パブリックコメントを実施した基本構想(素案)は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>基本理念の「安心」では、「子どもから高齢者までのだれもが、そのライフステージに応じて安心を実感できるまちづくり」を掲げており、今後基本計画等で、地震対策など安心して暮らせるまちづくりに向けた具体的な施策等を定めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>
理-6	<p>基本理念は、市民生活の面に加えて、その基本となる正常な財政運営なしには考えられない、行政をみて理念も必要である。これから10年の財政見通しは非常に厳しいことが予測され、税収増が考えられる事項は殆どないと言って過言ではない。</p> <p>むしろ高齢化・現役世代減により税収は、確実に減少に転じる。一方で支出は、高齢化による社会保障費の増大、次世代を担う乳幼児・児童への教育、医療費など、また、ニュータウン建設時に建てられた、公共施設・橋梁・道路の更新、一部事務組合の清掃工場新設負担などがあり、これの着実な対応策なしには、これからの10年は、決してバラ色の社会は描けない。</p> <p>今までの行政運営・考えなどを継続するのではなく、新しい発想と市民の持てる経験・知識・意欲を活用することなしには、この先予測される困難は乗り切れないのではないかと。もう一度ISO14001を取得した当時の職員の意気込み・行政姿勢を思い起こしてほしい。</p> <p>基本構想の取り組みに際し、まず行政・市民がこの現状認識を、しっかりと受け止め理解し、それらの諸課題を協働により確実に一つ一つ解決してこそ、次のステップへつながるのではないかと。</p> <p>これらの諸問題を考えると、基本構想の中で財政の確立の項をなぜ取り上げなかったのか理解できない。</p>	<p>1</p> <p>基本理念は、市のまちづくりに対する基本的な考え方を示しており、ご意見の財政運営等については、まちづくりを進める方策の1つと考えていますので、「5 まちづくりの進めかた」に示しています。</p> <p>今後、市の財政は、少子化・高齢化による歳入減・歳出増、公共施設等の老朽化への対応など、厳しい状況が予想されます。このような中、市民と市が目標や課題を共有しながら、ともに理解し、考え、行動し、まちづくりを進めていくことが一層重要になると認識しています。</p> <p>そこで、「(2) 持続可能な行財政運営」に示しているように、自主財源の確保や事業の選択と集中など行財政改革の取り組みを着実に進めるとともに、市民と行政が一体となって、創意工夫を凝らし、限りある資源の有効活用を進めていきます。</p> <p>また、「(3) 参加・協働」に示しているように、市民と行政がそれぞれの特性を活かした役割分担や連携のもとで、協働してまちづくりを進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

理-7	<p>市政の主人公は「市民」であり、市民自治を拡充することこそが、今日の様々な厳しい現実を乗り越えていく鍵だと確信している。研究者の多くもそう考えていると思う。ところが、この当然かつ原則的理念が、計画の大前提として掲げられておらず、あたりさわりのない文言でごまかしているように見受けられる。このことが、本案の根幹をなす弱点だと思ふ。</p> <p>市民自治を姿勢の屋台骨にしっかり据えることを、基本理念の第一にさせていただくことを強く求める。</p>	1	<p>地方分権の進展、多様化する市民ニーズ、厳しい財政状況等を踏まえると、市民自治によるまちづくりは、今後一層重要性を増していくと認識しています。</p> <p>「5 まちづくりの進めかた」の「(3)参加・協働」に基づき、市民と行政がそれぞれの特性を活かした役割分担や連携のもとで、協働してまちづくりを進めるとともに、市民の自治意識の醸成を図る事業の展開を図り、市民が自らの地域をより住みよい豊かな地域にしていく市民自治の仕組みの構築を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
理-8	<p>実施計画の中で高齢者の健康対策として入れてほしい事項は、健康になることで高齢者は人生の活力が得られ、医療費・介護費の削減につながることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順天堂大学で実施されている「介護・寝たきり予防のための運動教室」とタイアップした施策 ・継続して受講できる「健康体操セミナー」 <p>※現状は1回限り又は3か月程度のセミナーで継続した健康管理が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操を年間継続実施している場所の案内と自治会等にラジオ体操実施を促すPR 	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想(素案)は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>
理-9	<p>健康・医療・介護の集積地とすべきである。</p> <p>千葉県には医学部は1校しかない。四国には4校ある。千葉県は四国4県合わせたより人口が多いので、白井・印西地区に医学部のある大学を誘致しては。</p> <p>その上で、清潔・安全・安心・快適なまちづくりをすべきである。</p>	1	<p>市役所周辺には医療施設(病院と介護施設の複合施設)が2つ立地予定であることから、行政とこれらの機能の連携体制を構築していきます。</p> <p>大学誘致については、少子化が進む中で厳しい現状にあると考えますが、まちづくりを考える上での貴重なご意見として承りたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【2 将来像】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
将-1	<p>「将来像」というからには、大多数の市民がある程度の具体性をもってイメージでき（市民の健康に力を入れるのか、それとも文化に入れるのか、住宅都市としての快適性を重視していくのかなど）、大多数の市民の胸にストンと落ちるものであることが不可欠だと思う。市民が何も連想できない、しかも白井市の特性が一切反映していない、胸にストンと落ちるどころか、記憶にも耳にも残らないのではないか。「白井市には、将来ビジョンというものはありません」ということを、自ら表明しているようなものだと思う。県下の全市町村の将来都市像を調べ、比較してみたが、「ワースト3」に入るのは確実だと思う。是非、そして必ず、見直して下さい。職員も、視察に見えた他の自治体職員などに説明できないと思う。今後10年間も残ると思うと対外的にも恥ずかしい。</p>	1	<p>市の財産の1つである「みどり」、市の特性である都市と自然が共存する「快適さ」、そして、人のつながりが生み出す「活力」が相乗効果を発揮して、市民一人一人の心に「ときめき」が生まれる状態を、10年後の市のありたい姿として描いています。</p> <p>今後、人口減少時代の到来、厳しい財政状況などの課題に直面する中、千葉ニュータウン事業が収束し、市のまちづくりは、量から質へと新たなステージに突入します。</p> <p>このような中で、10年後の市そして市民の姿を思い描いた際に、市民一人一人が暮らしに真の豊かさを実感し、だれもが生きがいや喜び、充実感や希望を抱き、行政とともに新たなまちづくりを進めていくことが重要であると考えました。</p>
将-2	<p>広辞苑を見ると「ときめき」とは、「喜びや心配などの感情のため胸がドキドキすること」とある、果たして前項の基本理念で述べた白井市の現状と中期情勢見通しからして、この10年間の望ましい構想が「ときめき」がふさわしいとはとても思えないし、何か空虚感を抱かせる。これからの論議の中で多くの市民がふさわしい「キャッチ」として受け止められるものを決めてほしい。</p>	1	<p>そこで、10年後の白井市の姿として、市民が、快適で活力ある白井市で、暮らしに楽しさや充実感を感じて、白井市に「住んで良かった」と思い、さらに「住み続けたい」と白井市に愛着や誇りを持ち、まちを良くしようと新しいことにチャレンジするなど、まちづくりに対し市民の気持ちが高揚する様子を「ときめき」と表現しています。</p> <p>そして、市外の方々も「住んでみたい」と感じるような「ときめき」があふれる白井市でありたいという思いを込めています。</p>
将-3	<p>「ときめき」の言葉そのものは、美しい言葉であるが、地方行政に「ときめき」となると、具体的計画・施策からみて何を計画し実施していこうとしているのか、イメージが湧かない。</p> <p>白井市の現状をみても、暮らしのための「住」はあっても、「学」、「職」、「遊」がない。大学等が無い。職が無い。（白井市民の就業者のうち、7割以上の方は白井市以外に勤めている。工業団地はあっても、就業者の7割が白井市外の住民です。）ショッピングセンター等が無い。これが現状である。具体的な施策例を市民に提示してほしい。例えば、一流大学の学部を招聘する。大企業の工場を工業団地に誘致する。ディズニー・ヒルズを誘致する。等があれば、「ときめき」を感じるが？</p> <p>「ときめき」は、百人百色で、住民個々に違いがあるものであると考える。</p>	1	<p>人が感じる「ときめき」は千差万別ですが、市民が暮らしの中で、そして白井市に対して、それぞれの「ときめき」を膨らませてほしいと考えています。</p> <p>また、市の人口減少を緩和し、定住を促進していく中では、「白井市はどんなまちだろう？」、「白井市はどんなまちになっていくのだろうか？」と興味を持っていただくことも重要であり、そういう意味でも期待感を抱かせる言葉であると考えられています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【3 まちづくりの基本的視点】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
視-1	<p>子育て世代は、エンターテイメント（娯楽）も生活拠点に必要である。隣の鎌ヶ谷市や印西市、船橋市へわざわざ子連れで出かけている状況である。そういう意味でも白井市には子育て世代が求める利便性が不足していると思う。</p> <p>基本的視点の「にぎわい・交流」がどういう形で実現されるのか分からないが、子育て世代の定住には、娯楽が必要だということも考慮していただきたい。</p>	1	<p>「にぎわい・交流」の視点は、3つの重点戦略の全てに含まれる視点であると考えています。ご意見として承り、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画で具体的な施策等を定めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【4 まちづくりの重点戦略】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
重-1	<p>市が行った市民意識調査で最も重要度が高く満足度が低い「北総線の高運賃問題」が全く取り上げられていないのはなぜか。(高2アンケートでもトップに「鉄道バスの利用しやすさ」があげられている)唯一の交通手段とあってよい北総鉄道運賃が極端に高いことが、市民の移動(文化活動や生産活動、教育等に直結する)に著しい阻害要因となっているのは誰もが認めるところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃が高いことは「人口予測」や「厳しい財政状況」にも直接かかわってくることである。この問題を避けて通ることは、白井市民の期待に背を向けることになると思う。市として沿線各市と手を結んで、運賃値下げに向けて行動することを基本構想に掲げていただきたいと思う。 ・運賃問題を取り上げないことは、白井市が他の自治体と隔絶した道を歩むということの宣言になってしまうように思う。それに不満があれば、白井市に住んでもらわなくともよい、ということでもないでしょうから、真剣に取り組んでいただきたいと思う。 	1	<p>「鉄道の運賃問題対策」は、住民意識調査において、重要度が最も高く、満足度が最も低い結果となっており、市の大きな課題の1つと認識しています。</p> <p>これまで長年にわたり運賃値下げの要望や協議などを関係機関へ行ってきましたが、今後も引き続き取り組んでいく必要があると考えています。</p> <p>今回パブリックコメントを実施した基本構想(素案)は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>北総線は、市の中心都市拠点(白井駅周辺)と生活拠点(西白井駅周辺)、市内と市域外を結ぶ公共交通機関であるため、「戦略3 拠点創造プロジェクト」に基づき、今後基本計画等で具体的な施策等を定めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
重-2	<p>第5次総合計画の市民アンケートの中で、市民が最も大きな課題として上げていた、北総線高運賃問題について全く触れられていないのはなぜか? 「市民の声を反映した計画」に繋がらないし、この声を真摯に受け止めていない。何のためのアンケートだったのか。</p> <p>この問題は、生活、文化、人口、職業、教育、居住、人の交流などさまざまところに制限と停滞を生じさせており、これからの街づくりの根幹となる1つである。市民アンケート中で他の項目と比較しダントツの課題と示されていたではないか。(確か46%程度)なぜ取り上げなかったのか理由を伺いたい。</p>	1	
重-3	<p>市長は、その時点における当該市の最も重点的に取り組まねばならない公約(公職選挙法第142条の2に基づく公約)を掲げ、選挙にのぞみ、大方の賛同を得て市長に就任している。就任後は、当然これら公約を総合計画に反映させ、実現を図る責務があると思う。(現に、自治基本条例に明記している市も近隣の市にある。)</p> <p>白井市の現市長の選挙公約は、「北総鉄道の補助金なしのさらなる値下げを!」「しろいはひとつになろうよ!」と記憶している。</p> <p>白井市のネックである鉄道の高運賃問題等の市長の公約は、今回の素案には、どこを見ても見当たらず、審議会の審議模様をみても、むしろ運賃問題は、避けて通っているようにみえるが?</p> <p>これらの問題も、きちんと、正面から取り組むべきだと思う。<運賃の値下げ。>が無理ならば、乗らずに済むような施策、冒頭で述べた市内で「学」「職」「遊」が賄える計画を立て推進すべきだと思う。</p>	1	

重-4	<p>北総線問題に対する現市政（市長）の弱腰・背を向ける姿勢は、印西市（市長）の毅然とした明確な姿勢と比較しても、残念ながら際立っており、その弱腰はこの計画にも出てしまっている。いくら若い世代云々と書いても、高運賃問題の解決なしには「絵に描いたもち」にならざるを得ないのは、明々白々だと思う。市（市長）は、市民の側に立っているのか、それとも鉄道会社の側に立っているのか、この総合計画でも明確になっておらず、最大かつ最重要な課題としてぜひ明記すべきである。</p>	1	
重-5	<p>北総線高運賃の当面の対策として、現在、理髪店の好意で販売していくれているバラ売り回数券を白井郵便局・駅前センターで買えるようにしてほしい。</p>	1	<p>回数券を販売しているのは北総鉄道株式会社ですので、市がバラ売り回数券の販売に関与するものではありません。</p> <p>北総線の運賃問題については、今後、具体的な施策を定める基本計画や具体的な事業を定める実施計画で具体的な施策等を定めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
重-6	<p>白井市第5次総合計画基本構想（素案）では地球温暖化対策（低炭素CO2 社会の実現）が言及されていない。世界的施策であり、日本の施策としても重要である。地方自治体の努力も必要である。実効性のある、地球温暖化対策（低炭素CO2 社会の実現）基本構想の追加をお願いする。</p>	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>「戦略2 みどり活用プロジェクト」では、「環境保全の取り組み」を方針として掲げており、今後基本計画等で地球温暖化対策など具体的な施策等を定めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
重-7	<p>育児と仕事の両立を考えるうえで、早急に対応してほしいのが、病児・病後児保育の白井市内での実施や、夜21時くらいまでの預かりや小4以上の預かりを実施している民間学童の参入である。</p> <p>安心して育児と仕事を両立できる体制が、他市と比較するとまだまだ不足していると思う。</p> <p>保育園の待機児童についても、解消される兆しが見えてこない。</p> <p>もっと子育て世代に寄り添った基本理念を盛り込んでほしい。</p>	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>「戦略1 若い世代定住プロジェクト」では、「子育てを安心して楽しめる環境づくり」を方針として掲げており、今後基本計画等で、安心して育児と仕事を両立できる体制づくりなど具体的な施策等を定めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>

重-8	<p>近年、田、畑、梨畑、山林等が減少傾向にある。農業人口の高齢化に伴い梨の木も減少し、住宅地に変貌しつつある。若い世代でも安心して農業で生活できる体制の充実や工業団地・商業・農業等の調和を守るため産業振興に幅広く取り組んでほしい。</p>	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>「戦略2 みどり活用プロジェクト」に基づき、今後基本計画等で、農業の振興策など具体的な施策等を定めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>
重-9	<ul style="list-style-type: none"> ・年少人口や生産年齢人口は減少。高齢者人口の増加に当たり、地域の高齢者の持つ貴重な経験や技術をシルバー人材センター以外でも幅広く発揮できるように、また、ボランティア活動等色々な活動の環境整備をしてほしい。 ・若い世代が安心して生活できる環境の整備、生産年齢人口の減少への対応として女性の活躍を期待するために子どもを預かる体制の充実を期待したい。高齢化の高い地域で独居所帯や高齢者だけの所帯が見受けられ、地域で孤立すると考えられるので、家族との絆を大切にするためにも若い世代と高齢者が同居できるよう応援する仕組みづくりや2所帯住宅を推進してほしい。同居することによって子育て等、安心して生活環境が整うと思う。 ・今は地域で子育てするとのことで、家庭環境等色々な状況があると思うが、保育施設の充実、学童保育システムの開発に取り組んでほしい。 	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>「戦略1 若い世代定住プロジェクト」に基づき、今後基本計画等で、若い世代が安心して生活できる環境づくり、高齢者や女性の活躍、地域での子育てなど具体的な施策等を定めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>
重-10	<ul style="list-style-type: none"> ・自治区内で1人、2人住まいの高齢者が増えているため、各家庭の現状を把握するため交流できる施策や環境の整備が不可欠である。農作物栽培、食事会、趣味を活かした方法等。 ・孤独の解消の第1歩は簡単に誰でもできるラジオ体操・梨体操やウォーキングなど誰でも簡単に参加できることが大切である。出席や欠席の如何で、地域の見守りや健康維持につながる。 ・祭り・盆踊りなどの価値化、イベントの開催により梨をテーマにした高付加への取り組みなど賑わいのあるまちづくりをしてほしい。盆踊りでは毎年イベントで出店し売り上げを、正月に餅つき大会を開催すると、地域の絆に良いと思う。 	1	<p>今回パブリックコメントを実施した基本構想（素案）は、目指す将来像やその実現に向けた基本的な施策の方針を定めるもので、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画を策定します。</p> <p>いただいたご意見は、今後の基本計画等の策定に当たって、参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【参 考】</p>
重-11	<p>基本構想の中に「財源」とあるが、梨こそが財源である。これを議論してから道路、土地、教育などの議論に入っていくことが望ましいと思う。</p>	1	<p>ご意見のとおり、梨は、市の貴重な財産の1つであると認識しています。今後も、梨を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【5 まちづくりの進め方】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
進-1	<p>「近隣自治体との共同」について、持続可能な行財政運営に加筆すること。</p> <p>現在、近隣の自治体と共同で取り組んでいる事業に清掃、上下水道、火葬事業などがあるが、今後10年の財政状況を考慮すると、全ての公共施設を維持・管理することは非常に困難になる。</p> <p>それは、1980年代のニュータウン開発時に建設された、学校・清掃工場・橋梁・道路等の公共施設の更新が、目白押しにあり、そのすべてを更新するとなると大きな財政負担を伴い、財政的支えきれないのではないかと。</p> <p>先般、習志野市が現公共施設を維持できるのは、どの程度かとシミュレーションしたところ、継続できる施設は40%程度であるとしている。習志野市は、都市開発が白井より若干早かったが、同様にNT中心の街であることを考えると、本市もほぼ同様の課題として捉えても良い。習志野市は、その対策としてできることとして、廃止・統合・目的外施設の共用、そして重要なのは、近隣自治体との共同運営(清掃工場などのように)も現実ものとして取り組む必要があるとしている。</p> <p>これからの自治体は、これまでの「競う」から「協調」することに転換する必要があるし、白井市として第1歩を踏み出す必要がある。</p> <p>北総鉄道高運賃問題も印西市、沿線自治体と協調し取り組むことも早期解決につながるのが大きな事例ではないか。</p>	1	<p>今後の公共施設の老朽化に対応し、また、人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うため、総務省から公共施設等総合管理計画（公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画）の策定について示されました。</p> <p>この中で「市区町村域を超えた広域的な検討」についても触れられています。</p> <p>また、広域連携を推進するため、地方自治法が改正され、地方公共団体間の柔軟な連携の仕組みも制度化されたところです。</p> <p>市においても、今後、公共施設等総合管理計画を策定する中で広域的な連携について検討を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
進-2	<p>厳しい財政状況にかんがみ、白井市の行財政改革は必至であり、(第4次総合計画では、殆ど進んでいない。)これについて、何も触れなくていいのかわ。行財政改革と市民との協働の推進が必要であり、そのためには、まず、市職員の意識改革がまず必要であると思う。(アウトソーシングからコラボレーションへ)</p>	1	<p>「(2) 持続可能な行財政運営」のとおり、自主財源の確保や事業の選択と集中など行財政改革の取り組みを着実に進めるとともに、市民と行政が一体となって、創意工夫を凝らし、限りある資源の有効活用を進めていきます。</p> <p>また、「(3) 参加・協働」のとおり、市民と行政がそれぞれの特性を活かした役割分担や連携のもとで、協働してまちづくりを進めていきます。</p> <p>これらを進めていくためには、職員が自らの仕事のやり方や仕事に対する意識等を改革していくことが重要であると認識していますので、今後も、人材育成基本方針等に基づき、職員の育成に努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
進-3	<p>白井市の現市長の選挙公約である「しろいを一つに。」を実現するためにも、総合計画を「絵にかいた餅」にしないためにも、行政と市民、議会も一緒になって、是非第5次総合計画期間の早い時期に「白井市自治基本条例」の制定が望まれる。</p>	1	<p>自治基本条例によるルール化を急ぐのではなく、まずは市民が行政に興味をもち、参加意識を高めていくよう、市民の自治意識の醸成を図る事業の展開に努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

進-4	<p>前期計画にあった「自治基本条例」はいつのまにか消え、今次計画にもないようである。法律で努力義務が課せられている「公文書管理の抜本的な改善」も計画されておらず、市民自治は一層後退（10年以上も前に逆戻り）しているようにさえ見える。市民との情報の共有とか協働とかの文言は見えるが、市長及び幹部職員の姿勢は本当にしっかりしているのか。そもそも「本気の計画」にする揺るぎない決意があるのか。</p>	1	<p>自治基本条例によるルール化を急ぐのではなく、まずは市民が行政に興味をもち、参加意識を高めていくよう、市民の自治意識の醸成を図る事業の展開に努めていきます。</p> <p>公文書管理については、文書管理規程に基づき適切な管理に努めています。</p> <p>市民との協働を行うためには、まずは市民と市がお互いのことを知ることが重要であると認識しています。このため、市から発信する情報の充実のほか、市民が容易に市の情報に接することができるよう、ツイッターなど情報提供媒体の充実に努めるなど、市民との情報の共有を図っているところです。</p> <p>今後も、全職員が市民との情報の共有や協働に対する意識の向上に努め、計画を推進していきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
進-5	<p>これまでの市政運営を見ていると、「情報提供施策の基本方針」とか、「会議の公開に関する指針」などが出されてはいるものの、職場では全く無視され、実行されていないように見える（例、教育委員会の情報公開コーナーに綴られた議事録は正月明けの1月7日時点で4ヶ月前の9月5日開催分までなど）ので、白井市の場合においては総合計画や基本構想などを定めても、文字通り「絵に描いた餅」にしかならないのではないのか。</p>	1	<p>教育委員会の会議録については、教育委員会会議で会議録の承認を得た上で、内部決裁の手続きを経て、公開しています。</p> <p>このように、手続き上公開までに時間を要するものもありますが、できる限り速やかに公開するよう努めているところです。</p> <p>今後も、全職員が市民との情報の共有に対する意識の向上に努め、計画を推進していきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
進-6	<p>白井市には「職員企画提案」という制度があるが、その応募は3年連続ゼロなどという「悲しい実績」を拝見すると、職員出身の市長さんという身内意識が働いていることも影響しているのか、上記の事例を含めて、緊張感のないぬるま湯的な行政運営に陥しているように思えてならないが、そういうことはないと言い切れるのか。</p>	1	<p>市では、職員企画提案制度のほか、各種研修などを通じて職員の人材育成を図っています。</p> <p>また、計画の策定に当たって、公募職員により結成したプロジェクトチームが、今後のまちづくりについて議論するなど、職場内における人材育成にも努めています。</p> <p>このような人材育成の取り組みを進めながら、全職員が市の現状や課題、目標などを共通認識し、計画を推進していきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
進-7	<p>税金収入は高齢化に伴い年々減少していると思う。緑豊かな田園風景といっても、管理するためには財源が必要である。自主財源の確保に向けた取り組みとしては、企業誘致も一案であるし、事業仕分けや年々増加している民生費の抑制等の積極的な削減が必要である。</p>	1	<p>「（2）持続可能な行財政運営」では、自主財源の確保や事業の選択と集中など行財政改革の取り組みを着実に進めることとしており、ご意見の内容を踏まえながら、今後、自主財源の確保に向けた具体的な取り組みを検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【6 将来都市構造】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
都-1	<p>将来都市構造の分布図の中心都市拠点の子育て世代が重要視している「利便性」とかけ離れていると思う。中心都市拠点についても、駅から離れた現在の市役所周辺に集約されると、大変不便である。</p> <p>今でも市役所へ何かと手続きをするのに車で行かなければならないし、休日にしか市役所業務を片付けられないのに土日祝日は市役所も休みだったり、不便を強いられていて生活しづらさを感じている。</p> <p>普段から通勤に使用している西白井駅前、白井駅前をもっと中心都市として活性化していただきたい。</p>	1	<p>白井駅周辺を中心都市拠点、西白井駅周辺を生活拠点として位置づけています。</p> <p>ご意見として承り、今後、具体的な施策を定める基本計画と具体的な事業を定める実施計画で、それぞれの拠点の特性を活かした具体的な施策等を定めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

【その他】

No.	市民意見	件数	意見に対する市の考え方
他-1	現状分析などの基礎作業等がきちんと行われたとは思えない、「情緒的かつ総花的」、「厳しい現実を直視せず、無理やりバラ色に描こうとするような総合計画」なら率直に言って不要ではないか。それとも、上記の基礎作業はきちんと行われているのか。	1	市民へのアンケート、第4次総合計画の施策評価をはじめ、人口の動向分析、類似団体との行政水準の比較分析、SWOT分析※などの現状分析を行った上で、策定を進めています。 【その他】 ※SWOT分析 目標を達成するために意思決定を必要としている組織や個人のプロジェクトやベンチャービジネスなどにおいて、外部環境や内部環境を強み、弱み、機会、脅威の4つのカテゴリで要因分析し、事業環境変化に対応した経営資源の最適活用を図る経営戦略策定方法の1つです。
他-2	本総合計画のために多額の税金と労力を投入してきていると思うが（コンサル委託、意識調査、審議会、ワークショップ、職員の人件費等々）それに見合う成果（実効性）が期待できるのか、前計画のこともあるので疑問である。一体、どのくらいの労力と費用をかけているのか。	1	職員の人件費を除き、平成26年度は8,759千円を予算計上しています。平成27年度については現在予算を精査中です。 第5次総合計画については、優先度の明確化、財政見通しと予算との整合性の確保、進行管理の仕組みづくり、実施計画による具体化等を通じて、実効性の高い計画としていきます。 【その他】
他-3	第4次総合計画の総括をきっちり行ったのか、行うのか、議会の中で市長は、議員質問に85%の達成だと答えておられたが、具体的な内容が何もしめされていない。評価も市民を加えた第3者の評価委員会などできっちり評価すべきである。	1	平成26年7月～9月に、第4次総合計画の中間検証（平成25年度末時点）を実施しました。具体的には、第4次総合計画策定時に定めた目標値や住民意識調査から把握した市民の意識をもとに、施策の進捗状況、今後の課題と展開などを評価（内部評価）しました。 第3者評価などの評価方法については、今後の検討課題として捉えています。 【その他】
他-4	総合計画の評価は、大甘な自己評価ではなく、市民及び専門家を入れた評価制度の導入を是非お願いします。 第4次総合計画の基本計画を策定時の「描いた姿からみて、現状はどうか。」との観点に立った評価をしてほしい。 実施計画の段階で、達成ハードルを引き下げた計画を立て、自己評価し、「ほぼ達成」とか「順調」は、本当の評価にはならず、次期の計画への参考にもならない。	1	【その他】
他-5	第5次総合計画を策定するに当たっては、まず、「第4次総合計画」の達成予測状況を示し、その現状を踏まえて、第5次計画に着手すべきだと思うが？何の説明もない。	1	平成26年7月～9月に、第4次総合計画の中間検証（平成25年度末時点）を実施しました。具体的には、第4次総合計画策定時に定めた目標値や住民意識調査から把握した市民の意識をもとに、施策の進捗状況、今後の課題と展開などを評価し、この評価結果を第5次総合計画の策定に活用しているところです。 なお、評価結果の内容については、市ホームページや情報公開コーナーなどでお知らせしています。 【その他】

他-6	<p>第4次総合計画の将来像「市民と築く 安心で健康なまち しろい」は、達成できたのか？平成27年度中には達成できる見込みなのか？私のみるかぎり、<道まだ遠し>であるが？</p> <p>具体的な例を1つあげると、「安心・安全」について、3、11の東北大震災の事例から、市でも、平成25年4月「総合防災ハザードマップ」を作成し、全世帯に配布された。これは、東北大震災規模の地震が発生した場合の、市内の被害想定を各小学校区単位に示したものだが、これは、いわば問題提起の資料であり、これをもとに、具体的な防災対策、避難対策等を計画実施すべきであるが、その後、具体的な対策等を策定し実施されていない。「各種被害の評価」のうち、「避難充足率（屋内収容人員数合計/避難所生活者数）」を見ても、危険度1（災害に対して強い。）は、第1小学校区だけで、危険度5（災害に対して弱い。）は、3小学校区（清水口、大山口、第三小学校区）あり、危険度4も3小学校区ある。これらを解消しなければ、市民の不安を解消し、安全を確保したことにはならない。行政と地区住民が協働して不安解消に努めなければならないが、これ1つ解消するにも、10年、20年はかかると思料される。</p> <p>第4次総合計画との継続性については、何も触れられていないが、どうか？是非「市民と築く、安心で健康なまち しろい」を継続してほしい。</p>	1	<p>平成26年7月～9月に、第4次総合計画の中間検証（平成25年度末時点）を実施しました。86の具体的施策（取組）を対象に進捗状況、今後の課題と展開などを評価しました。</p> <p>平成27年度は、第4次総合計画の最終年度であることから、計画目標等の達成に向けた最終仕上げに取り組んでいきます。</p> <p>また、第4次総合計画との継続性について、素案では、第4次総合計画のまちづくりを継承し、「安心」、「健康」、「快適」を基本理念に掲げているところです。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
他-7	各分野別（市民生活、農業・商工業・福祉・環境・災害などの現状分析を行い問題・課題を明確にする。	1	<p>今後策定する基本計画では、分野別計画を策定する予定であり、その中で各分野の現状等を示していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
他-8	<p>市の姿勢として、本気で立案に取り組んでほしい。例えば、これまで取り組んできた事業仕分けは、その成果は推移を見ていく必要があるが、一定の成果もみえたが、行政改革委員会は、昨年度1度も開催されていないこと、また協働を進める市民活動推進委員会も委員さえ選出されていない。これらのことに対する市の組織で課は、20あまりに対して、各種委員会が60前後あり、このことも職員の対応ができていない要因では、委員会を関連あるものを集約する、「選択と集中」は常日頃市長の言動ではないか。</p>	1	<p>各種委員会（審議会等）は、公正な行政運営の確保、市政に対する市民の意見の反映等を目的として設置しています。</p> <p>平成24年に審議会等の見直し方針を制定し、審議会等の設置数の見直しの基準として設置の必要性、類似する審議会等の有無などを示し、これに基づき審議会等の廃止、統合等の見直しを実施したところです。</p> <p>今後も、この方針に基づき審議会等の見直しを行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

他-9	<p>第5次総合計画の策定にあたっては、平成28年度から37年度の「人口推計」と「財政推計」は計画を検討するにあたって、きわめて重要な要素である。「人口推計」は資料として提示されたが、「財政推計」は、提示されていない。「総合計画」を策定するのに必要なのか。これなくしては、計画そのものが、現実と乖離したものとならないか。素案の段階で、きちんと市民に提示すべきである。</p> <p>「人口推計」で、白井市も32年度をピークに人口減少時代に突入する。</p> <p>その就業人口が減少し、超高齢化時代に突入するということは、財政状況は、相当に厳しい状況になることが容易に想定される。多分、市税収入は、毎年、数億円単位で減収になると想定するが？</p> <p>本来、市民に「パブリックコメント」を求める前に提示されるべきだと思料する。</p>	1	<p>現在、人口推計に基づき財政推計の作業を進めています。</p> <p>しかし、財政推計では、人口の変動が財政に及ぼす影響に加えて、現在策定を進めている行政改革大綱や公共施設の長寿命化など市の取り組みを総合的に勘案する必要があると考えています。</p> <p>これらの作業を進め、できる限り早く市民の皆さんに示していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
他-10	<p>白井市は工業団地、商業、農業等並びに首都圏近郊に位置し、雇用状況も悪くないうえ、持家志向も高く、消防、救急、警察活動はもとより、ゴミ収集や行政サービスも充実で心豊かに暮らせる場所だと思うので長期的なサポートを期待する。</p>	1	<p>今後も、市民の皆さんが心豊かに暮らし、住み続けたいと思えるまちづくりに努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
他-11	<p>今後策定される基本計画・実施計画の策定の際にも、基本構想策定時と同様の勉強会・タウンミーティング等が実施されるのか。</p>	1	<p>基本計画・実施計画の策定に向けて、平成27年5月・6月に地区別ワークショップを実施する予定です。</p> <p>地区別ワークショップの日時や場所等の詳細は、広報紙や市ホームページ等でご案内させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
他-12	<p>第4次総合計画のうち未達成で、継続する事業の計画上の位置づけはどうなるのか。この事業は、基本計画・実施計画の中で策定されることになるのか。</p>	1	<p>今後、第4次総合計画に基づく事業の継続、見直し、廃止等を検討し、その結果を受け、具体的な事業は実施計画に位置付けていきます。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>